

しいたけの種駒打ち体験

しもはじしいたけ会員

「しいたけ原木のオーナーになろう」という企画が始まりました。樹林で行なっているしいたけ作りを、会員になって収穫を楽しもうという初の試みです。

2月11日(火)は、里山で倒されたコナラやクヌギを運んで来て、種駒打ちをする活動でした。電動ドリルで原木に穴を空け、そこに種駒を打ち込みます。子どもたちも木槌を手に、楽しそうに作業をしていました。

22日(土)は種駒打ちからスタート。そのあと原木=ほだ木は「仮伏せ」にしました。これは打ち込んだ種駒の乾燥を防ぐための保温、保湿が目的。

そして5月のGWの頃に会員の皆さんと「本伏せ」を行ないます。これはしいたけの菌糸を原木の中に蔓延させること。大事な作業です。

今回種駒を打ち込んだほだ木から、実際にしいたけが出るには1年半から2年かかります。その間、オーナーとなった方のほだ木はしもはじが管理します。そして、しいたけの発生

が始まった時に会員の皆さんにお知らせするシステムです。オーナーさんのほだ木のしいたけは会員様のものになります。すぐに結果が出るものではないところが、この「しいたけ会員」の気長な楽しみというわけです。



写真左：原木となるのなら、くぬぎを運び出す子どもたち。

写真中：子どもも木槌で種駒打ちです。

写真右：ドリルで開けた穴にしいたけの種駒を打ち込みます。

ソロキャン・デビューからの自立キャンプ

キャンプ場で勤めている「ソロキャン・デビュープラン」。テントからタープ、焚き火台、シュラフなどソロキャンに必要なあれこれを借りることができて格安のプラン。しかもベテランのスタッフがアドバイスをするので、初心者でも大丈夫です。

1月に、食材だけを持参して、そのプランを利用した男性が、2月に再訪しました。今度は自前のキャンプ用具をそろえて来ました。

テントの上にタープを張る通称「オガワ張り」も見事。焚き火台もローチェアもそろえていました。

前回アドバイスをしたスタッフが尋ねたところ、「全部で10万円くらい使っちゃいました」とのことでした。

しもはじのキャンプ場でソロ・キャンを体感し、わずかな期間でしっかりと「ソロキャンパー」に変身。

「また、絶対に来ます！」

こういうキャンパーが育ってくれるのは実にうれしいことです。

キャンプ初心者には見えない自分サイト作り。

